

【e-ネット安心講座】 桑名市立久米小学校のみなさまへ

インターネット・携帯電話の安全な使い方 < 子どもをネット社会の被害者にも加害者にもしないために >



e-ネット安心講座とは:

子どもに迫るネット危機の実態を学び、その予防と問題解決のために、家庭でどのようなネット安全教育を実施すればよいかを考える講座です。

2015年3月7日
 e-ネットキャラバン
 講師 林 雅樹

e-ネットキャラバンのご紹介

総務省 MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

ご意見・ご提案 English Google™カスタム検索 サイト内 関連サイト

ここに検索語句を入力 検索

アフィリエイト 検索エンジン

総務省トップ > 政策 > 情報通信(ICT政策) > ICT利活用の促進 > 教育情報化の推進 > e-ネットキャラバンの推進

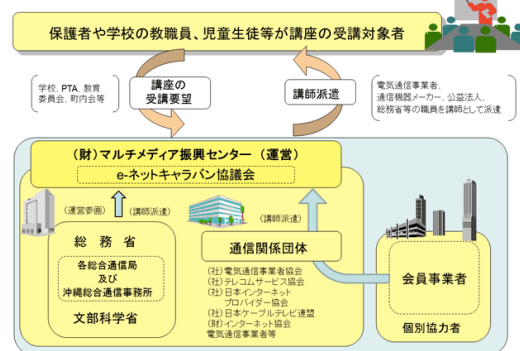
教育情報化の推進

- ▶ フューチャースクール推進事業
- ▶ 教育分野におけるICTの活用事例
- ▶ 校内LAN整備の促進
- ▶ ICTメディアリテラシーの育成
- ▶ e-ネットキャラバンの推進
- ▶ インターネットラブル事例集
- ▶ 社会・産業におけるICTシステムの役割についての啓発教材

e-ネットキャラバンの推進

インターネットや携帯電話は、今や私たちの日常生活やビジネスに欠かせないコミュニケーションツールとなっており、近年では子どもたちでも容易に使える環境が整っています。一方で、子どもたちは大人より警戒心もなく、使っ上での判断力やモラルの準備が整わないうちに、安易にネットの世界に足を踏み入れてしまいがちであるため、ケータイ依存やネットいじめ、ネット詐欺などのトラブルも多発しています。このため、総務省では、文部科学省及び通信事業者等と連携し、保護者や学校の教職員、児童生徒を対象とするインターネットの安心・安全な利用に向けた啓発活動(全国規模で行う出前講座)を実施しています。

推進体制





久米小学校に来るまで

目的地: 三重県
スタートビュー: 9月2014

所要時間 17分 距離 2.9km

所要時間 20分 距離 5.4km

時刻	路線	乗車位置	運賃	駅名/利便
08:51-08:58 (7分)	JR 東海本線 (東海) (緩急行)	前・後	500円	5.2km
09:05-09:27 (22分)	JR 関西本線 (東海) (快速/亀山行)	5番線	12番線	23.8km
				↓
				23.8km

空路有効期間: 2015年2月1日~2015年3月28日

所要時間 41分 乗車時間 34分 乗換 1回 総額 630円 距離 28.9km

時刻	路線	乗車位置	運賃	駅名/利便
08:51-08:58 (7分)	JR 東海本線 (東海) (緩急行)	後	190円	5.2km
09:05-09:32 (27分)	私 近鉄名古屋線準急 (近鉄平日市行)	5番線		23.7km

ネット社会の7つの常識

1. 自分のことはまず自分で守る
2. 情報発信の際には法律とマナーを守る
3. ネット上の個人の行動は特定される
4. 怪しいサイトや見知らぬ人に近づかない
5. 群集心理にのらないで冷静な判断をする
6. セキュリティ対策は万全に
7. ネット上のトラブル解決には協力体制で



ネット社会の7つのトラブル

1. 著作権等の違反
2. メールや書き込みでの誹謗中傷やいじめ
3. 誘い出しによる性的被害や暴力行為
4. インターネットショッピングをめぐるトラブル
5. ネット依存による(心身の)健康被害
6. ウイルスの侵入や個人情報の流出
7. 犯行予告等



忍び寄るケータイ依存

友だちや家族と話をするのが面倒 (コミュニケーション不足)

すぐ返信しない!!

アダルトサイト

集中力の低下

睡眠不足、眼精疲労、かたこり、イライラなど

健康な生活が営めなくなる。



調査報道でも

ネット依存の中高生、全国に52万人 PCやスマホ没頭

ネット依存の危険度がわかる質問項目

8項目のうち、5項目以上に当てはまると、ネット依存の疑い

- ネットに夢中になっていると感じているか
- 満足のため使用時間を長くしなければと感じているか
- 制限や中止を試みたが、うまくいかないことがたびたびあったか
- 使用時間を短くしようとして落ち込みやイライラを感じるか
- 使い始めに考えたより長時間使っているか
- ネットに詳しくなりたいか
- 熱中しているか
- 問題を解決できないか

学齢別にみた依存傾向が高い人の割合

学齢	割合 (%)
小学生	2.3
中学生	7.6
高校生	10.2
大学生	6.1
20代	6.3

出所：電通リサーチ「総合消費動向調査2012年2月全国調査より」

若者のネット依存のタイプで多い「きずな依存」

【社外記子】「使用時間を短くしようとすると、平均利用時間3.0時間、小・中学生では1時間未満が多いが、学齢が上がると、男子高校生の平均が1.1時間、女子高校生の平均が7.0時間と長時間化している。女子高生の9.7%が一日15時間以上使用している。」

子ども全体ベース

0歳以上の割合

利用時間	割合 (%)
1時間未満	64
1-2時間	28
2-3時間	16
3-4時間	5
4-5時間	3
5-6時間	1
6-7時間	1
7-8時間	2
8-9時間	0
10時間以上	0
15時間以上	0

子ども、性別

性別	平均	最大	最小	標準	分散	標準偏差	最大値	最小値
男子	44.3	28.0	16.0	5.3	3.1	1.8	1.0	3.0
女子	44.3	30.4	18.4	4.9	1.0	1.0	1.0	2.5
男子小学生(4-6年生)	44.3	25.6	13.6	5.8	5.2	1.9	3.0	3.4
女子小学生(4-6年生)	10.3	69.9	25.2	6.8	1.0	-	-	1.5
男子小学生(7-8年生)	10.3	69.9	22.3	6.8	1.0	-	-	1.5
男子中学生	10.3	53.4	33.0	12.8	-	-	-	1.9
女子中学生	10.3	61.2	29.1	7.8	1.0	-	-	1.8
男子高校生	10.3	10.7	33.0	37.9	13.6	2.9	1.9	4.1
女子高校生	10.3	1.9	29.2	15.5	15.6	3.9	3.2	7.0
子ども、フィルタリング	27.0	44.4	17.8	9.0	2.3	0.8	1.2	2.7
フィルタリング未使用者	27.0	44.2	27.2	13.8	5.6	4.0	2.5	3.3
子ども、スマートフォン	14.0	20.0	37.3	23.9	8.2	4.7	2.2	3.8
スマートフォン未使用者	14.0	38.0	10.6	3.4	-	-	-	1.2

注：フィルタリング未使用者は、フィルタリング機能を利用していないユーザーを指す。

どうすれば？

予防と 対応

保護者のすばやい対応と子どもに自分を律する心を持たせることが大切です

- ➡ **家庭内ルールの設定**
携帯電話の活用ルールを子どもと一緒に決めましょう。
- ➡ **ケータイを使わない時間帯を設定**
ケータイを使う時間を短くしましょう。
- ➡ **カウンセラーに相談**
遠慮せず養護の先生やカウンセラーに相談しましょう。



9

広がるネットいじめ

うつ状態などの
精神的被害
(気力低下)



短期間に被害が拡大・深刻化していくことに注意が必要です。

10

どうすれば？

予防と 対応

保護者、学校、カウンセラー、警察などとの協力によるすばやい対応が大切です。

- ▶ **サインを見逃さない**
子どものサイン（おびえ、無口、食欲低下等）を見逃さない。
- ▶ **証拠を残す**
書き込みの画面の証拠を残しておく、後の対応がしっかりとできます。
- ▶ **学校や専門家にすぐ相談**
迷わず学校やカウンセラー、警察などに相談しましょう。（相談窓口があります。43へ



11

危険なネット誘引

性的搾取、性的被害
(児童買春、援助交際につながる)

引っ掛かるかな・・・

実物

会って
みようかな～♡

男子生徒も
加害者に

プロフやブログも
危険

性的搾取や性的被害、暴力等にあう可能性があります。

12

どうすれば？

予防と対応

学校、カウンセラー、警察などの協力によるすばやい対応が大切です。

➡ 誘い出しを防ぐルールを作る

個人情報は教えない、会いに行かない、自分の画像はアップしない等。

➡ サインを見逃さない

お金の使い方、外出の頻度、隠している様子等を見逃さないように。

➡ 学校や専門家にすぐ相談

遠慮せず学校や専門の相談窓口にご相談しましょう（電話相談窓口もあります）。

大丈夫ですよ！

電話相談窓口

行っちゃダメ!!



13

ネット詐欺の巧みなワナ

ネット詐欺の手口

お金を巡るトラブルに巻き込まれる
(架空請求、料金未入、過大クレーム、損害賠償請求など)



架空の請求が来てしまう事も...

カード番号を悪用

クレジットカードの番号を入力してください。



個人情報が盗まれて悪用される
(フィッシング詐欺)



無料画像
すぐにクリック!!



だまされて金銭を失うことになる



お金、物品、情報をだまし取ろうとする人がいます。

14

どうすれば？

予防と 対応

消費者センター、警察などとの協力による
すばやい対応が大切です。

▶ 保護者と一緒に利用する

家庭では、保護者と一緒に安全なネットショッピングを楽しみましょう。

▶ クレジットカードの管理は厳重に

子どもが勝手に使わないようクレジットカードの管理は厳重にしましょう。

▶ 消費者センターに相談

遠慮せず消費者センターに相談しましょう（電話相談窓口もあ



15

犯行予告は犯罪です！

携帯電話・パソコンから掲示板に子どもが書き込んだ犯行予告でも特定されます。



たとえいたずらでも、犯行予告は犯罪です。
実行者は必ず見つかります。

著作権・肖像権は大切にしよう!

著作権や肖像権を守り合う社会にしましょう。肖像権は、有名人のパブリシティ権と一般人のプライバシー権としてのものの両方があります。



お互いの著作権と肖像権を守り合う社会を作ることが大切です。

個人情報の流出を防ごう!

パソコンから外部へ個人情報が流出するのを防ごう!



パソコンがインターネットにつながると個人情報が外部に漏れ出す危険性が増します。

チェーンメール・迷惑メールをうまく処理しよう!

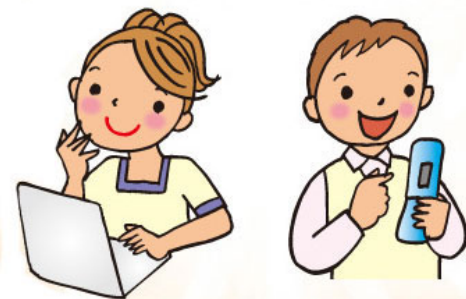
不必要なメールは無視する勇気と正しい判断力を育てましょう。



大きな被害にならなくても、
保護者による丁寧でこまめな対応が必要です。

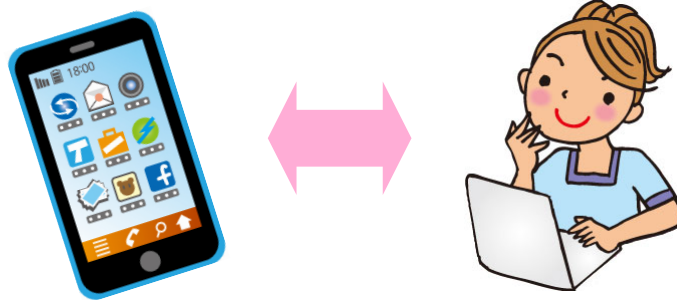
デジタルネイティブ

生まれたときから
ケータイ・ゲーム・ネットに囲まれて育ち
それらを使うのが『当然』



スマートフォンとは・・・

携帯電話 + パソコン



ケータイと比べると非常に高機能で
アプリ開発や流通が容易

36

無料通話・無料メールアプリ

電話番号・メールアドレス・アドレス帳
プロフィール情報・画像情報などの情報が
企業に収集されている場合も・・・



利用規約をよく読もう！
信頼のおけるアプリを使用しよう！

38

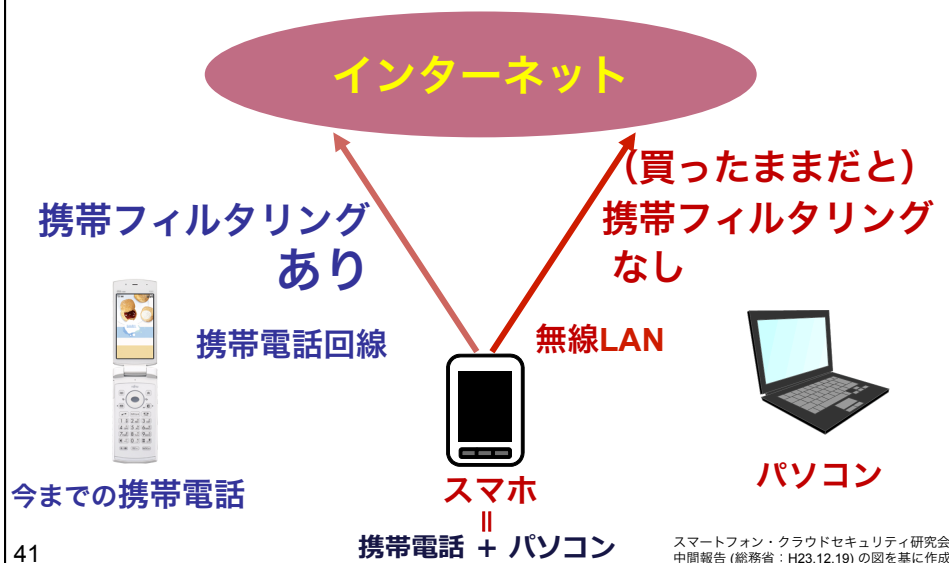
スマホのフィルタリングについて

**無線LAN 経由でのインターネット接続は
フィルタリングがかかっていないことがある！**



40

スマホの接続経路



41

フィルタリング

いろいろとあるフィルタリング（以下写真はその一例です）

- ・ 携帯会社が提供するフィルタリング
- ・ プロバイダーが提供するフィルタリング
- ・ パソコンやスマホにソフトを導入する方式



25

ネット社会の7つの常識

1. 自分のことはまず自分で守る
2. 情報発信の際には法律とマナーを守る
3. ネット上の個人の行動は特定される
4. 怪しいサイトや見知らぬ人に近づかない
5. 群集心理にのらないで冷静な判断をする
6. セキュリティ対策は万全に
7. ネット上のトラブル解決には協力体制で



保護者と子どもが
一緒に誓う

7つの約束

保護者が、子どもをネット危機から守るための「7つの約束」

1. 大人も子どももルールやマナーを守ります
2. ネットで知り合った人とは会いません
3. 家庭のルールを作ります
4. いじめはしません、見逃しません
- 5.トラブルは大人に相談します
6. 加害者にも被害者にもなりません
7. 大人の携帯電話を勝手に使いません

27

グレゴリーへ

メリークリスマス！あなたは今日からiPhoneを持つことができます。
やったね！あなたは責任感のある利口な13歳なので、このプレゼントはあなたに
ふさわしいとおもいます。

(中略)

1.これは私のiPhoneです。私を買って、あなたに貸してあげています。私ってや
さしいでしょ？

2.パスワードは常に私に報告してください。

3.これは電話です。鳴ったらマナーを守って必ずでて下さい。それがママかパパ
だったら絶対に出ること。

4.学校のある日は午後7:30に、休日は午後9:00にママかパパにiPhoneを渡しな
さい。次の朝7:30までシャットダウンして おきます。友達の親が直接出る固定電
話に電話出来ないような相手ならその人には電話もSMSもしないこと。自分の直
感を信じて、他の家族も尊重しなさい。

5.iPhoneを学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直
接会話を楽しみなさい。会話は生きる上で大事なスキルです。

6.もしトイレに落として水没させたり、地面に落として破損、紛失した場合は、
修理費用は自己負担です。庭の芝刈りや赤ちゃんの世話、誕生日でカバーしてく
ださい。

7.このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にはしてはいけません。ネットいじめに関わるようなこともしてはいけません。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。

8.人に面と向かって言えないことを、この携帯を使いメールで言わないでください。

9.友達の前で言えないようなことをメールでしないこと。自己規制してください。

10.ポルノは禁止です。私と共有出来るような情報をネットで調べてください。もしわからないことがあるようなら、誰か人にきくようにしなさい。なるべく私かお父さんに聞いてね。

11.公共の場では電源を切るか、サイレントモードにしなさい。特にレストラン、映画館など他の人としゃべっているときは気をつけなさい。あなたはだらしない人ではありません。iPhoneがそれを変えるようなことがあってはいけません。

12.あなたや他人のプライベートな写真を送ったり受け取ったりしてはいけません。バカにしてもだめです。あなたは賢いですが、そういうことがしたくなる時期がやってきます。それはとってもしリスクが大きく、学校生活だけでなく人生さえも壊してしまう可能性があります。サイバースペースはあなたより巨大で強力です。一度広まってしまったら、解決するのはとっても難しいです。

13.膨大な数の写真やビデオを撮らないでください。すべてを記録する必要はありません。経験を大切にしてください。全てはあなたの記憶に残ることでしょう。

14.ときにはiPhoneを家に置いて行きなさい。iPhoneはあなたの人生でもあなたを拡張するものでもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。携帯を失うことを怖がるようなソーシャル依存症になってはいけません。

15.友達が聴いているような平凡な音楽ではなく、クラシックや前衛的な音楽をダウンロードして聴いてください。現在は昔と比べ音楽を簡単にダウンロードしたり聴けるようになりました。この環境を活用してあなたの視野を広げてください。

16.言葉ゲームや難しいパズルを解いて、脳をきたえなさい。

17.あなたの周りで起きることを良く見てください。窓の外を見て鳥の声を聞いて、散歩に出かけ、知らない人とも話すようにしなさい。グーグルに頼らないで探し求めなさい。

18.問題があるようなら、iPhoneを没収します。そして一緒にそのことについて話し合います。またやり直しましょう。あなたと私はいつも何かを学んでいる。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

ご清聴ありがとうございました。

安心インターネットライフ★ガイド

編集／発行 一般財団法人 マルチメディア振興センター

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-22-1秀和第二芝公園三丁目ビル

TEL.03-5403-1090／FAX.03-5403-1092

E-mail:e-netcaravan@fmmc.or.jp

URL:http://www.fmmc.or.jp

編集主幹 田中博之(早稲田大学大学院教職研究科・教授)

法律アドバイザー 田島正広(田島総合法律事務所 所長・弁護士)

編集協力 ネット安全モラル学会

31

自己紹介

氏名: 林 雅樹

職業・職歴:

機械メーカーの人事労務担当を10年

IT会社エンジニア・管理者等を27年

サーバー・システム・NW等の構築・維持等

2011年8月より無職

趣味:

ギター演奏、コンピュータ、ネット遊び

ボランティア活動いろいろ

社会人講師、NPO/団体のお手伝い(人事労務等のご支援
Web/クラウドサイト・facebookサイト構築のご支援) など

